



有明テニスミュージアム常設展示が実現する

テニスミュージアム委員長
吉井 栄



2023年9月、待望のテニスミュージアムが有明テニスの森公園のインドアコートの2階に開設されることになった。1991年に「テニス博物館準備案」が造られ、2002年にテニス資料館準備室（現在のテニスミュージアム委員会）が発足し、2009年には故宮城黎子さんからのご寄付に託されたご遺志を継ぎ、活動を始めてからはや20年。その間、関わった人たちの熱い想いがとうとう形になる。長い間アブストラクトなコンセプトであったものが形を成す。なんとも感慨深い。

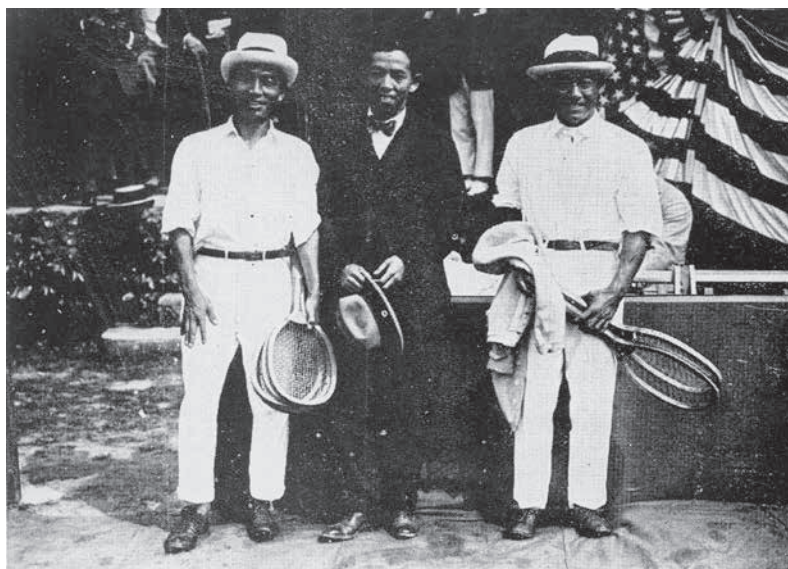
ウッドのラケットからメタル、グラスファイバー、そしてカーボンまで、数多くのスーパーショットを放ってきたラケットが並び、くるぶしまでのドレスとボネット姿の淑女たちと長ズボンに長袖の紳士たちがプレーを楽しむ白黒の映像に次第に色がつき、ローランギャロスの赤土やウィンブルドンの芝の緑が独特な雰囲気を作り出す。自らデザインしたウェアからカラフルなウェアに至るまで、それぞれの時代がよみがえる。

1970年にサドンデスがグランドスラムに導入され、タイブレークが定着したころ、WCTファイナルで対戦したR.レーバーとK.ローズウォールはコートチェンジの際に水分補給をほとんどしなかったのを覚えている。水分はとらないほうが疲れないと思われていた時代だった。サービスラインのインかアウトを機械が判断するようになったのが1980年で、その後、J.マッケンロー選手を悩ませ続けたジャッジに対しチャレンジシステム

が2006年に導入された。2018年にはサービスクロックが導入され、サーブをする前に許される時間が制限された。時を経てコロナ禍、各ラインジャッジの代わりにコンピュー



1924年、第1回全日本女子選手権出場の前山安宅ヘア。当時は既製品の女性用ウェアは少なく、自分たちで作ったり、市販の洋服をアレンジしていたらしい。写真に写っている彼女たちのラケットやシューズも貴重な資料となる。



1921年、デビスカップ初参加の日本チーム（左から熊谷一弥、清水善造、柏尾誠一郎）。チャレンジラウンドでカップ保持国のアメリカに敗れるも、この時の入場料収入分と金が発足したばかりの日本庭球協会を支える基金となった。

有明テニスの森公園がリニューアルオープンし、テニスミュージ

東京2020後の改修工事が完了

2023年3月、有明テニスの森公園の改修工事が終了し、5月から49面のテニスコート全ての利用が再開されました。

東京2020オリンピック（2021年7月23日～8月8日）、パラリンピック（8月24日～9月5日）のあと、クラブハウス・インドアコート、屋外コートの一部、芝生広場などを中心に全面的な改修工事が行われていた有明テニスの森公園。オリンピック開催のための工事期間と合わせると、約5年以上の長きにわたり一般利用が制限されていたわけですが、ようやくフル稼働となりました。

ここでは、リニューアルされた有明テニスの森公園の新しい施設と、9月オープン予定のテニスミュージアム展示場をご案内いたします。

新設のクラブハウス内に常設展示場がオープン

今回の改修でいちばん大きく変わったのは、8面のインドアコートを備えたクラブハウス。以前、クラブハウス（1階）とレストラン（2階）、客席付きの1・2番コートがあった場所に新設されました。

入口を入ると、右側に受付カウンターがあり、その横はテニスショップ。中央の広い団らんスペースの左にはオープンテラスのある飲食エリアがあります。まだ開業準備中ですが、テニスミュージアム委員会が協力して、テニスの歴史的資料をディスプレイした“テニスカフェ”としてオープンする計画です。

入口からまっすぐ奥に進めばインドアコートですが、左手の階段（エレベーターもあります）を上った2階ロビーの一角が、テニスミュージアム委員会の常設展示場（2023年9月オープン予定）になります。日本テニスの歴史を彩った名プレイヤーたちのトロフィーやカップ、テニスラケットなど貴重な資

料を展示し、レジェンド選手たちの活躍と日本テニスの歴史を紹介します。ビッグトーナメントに合わせて企画展なども開催します。料金無料ですので、有明テニスの森公園にお越しの際は、ぜひ、お立ち寄りください。

クラブハウスに併設されたハードコート8面の屋内テニスコートは、空調設備が完備され、コートサイドの余裕もあり、天井も高い快適な空間。ロビングを考慮したドーム型の屋根トラスは認証制度の規格に適合した北海道産カラマツを使用した木製構造で、2019年に都建建築物として初めてプロジェクト認証を取得とのこと。インドアの中央には渡り廊下が設置され、コートを2階の高さから眺めることもできます。



クラブハウス・インドアコートの外観



2階ロビーの一角がテニスミュージアム常設展示場に



室内コートを横断する2階の渡り廊下



室内コート天井の梁は特殊な木製構造



JTAテニスミュージアム委員会常設展示場（完成予定図）

有明コロシアム常設展示場が開設！

テニスミュージアム副委員長
中川 智文



日本テニスの聖地、48面は誰でも利用可能

有明コロシアムと東京2020のために増設されたショーコート1はそのままだっています。そして、ショーコートに並んで23面の屋外ハードコートが整備されました。以前、16面の砂入り人工芝コートがあった場所まで、首都高速湾岸線側に沿ったエリアがハードコートになりました。一方、東京2020で使われたショーコート2は撤去され、以前の芝生広場に戻っています。

インドアコートの奥、改修前は16面のハードだった場所は砂入り人工芝コートになりました。砂入り人工芝といえば緑色が一般的ですが、有明テニスの森公園のイメージである「ブルーのコート」で統一するよう、全国的にも珍しい青色の人工芝が採用されています。

コロシアム（1面）、ショーコート（1面）、屋外ハードコート（23面）、屋外砂入り人工芝コート（16面）、室内ハードコート（8面）、合計49面のテニスコートはコロシアムを除く48面の一般利用が可能です。大会やイベントで入場料がある場合や、照明や放送機材など付帯設備の使用などがなく、個人的にプレーするだけなら、利用登録と抽選申し込みが必要ですが誰でも基本料金でテニスができます。興味のある方は、ウェブサイトで詳細をご確認ください。

開園40年のARIAKEから 日本テニスの歴史が再スタート

そもそも、有明テニスの森公園が開園したのは1983年の5月。この年からジャパンオープンが開催され、翌1984年から全日本選手権の会場となり、そのほか国内外の大きな大会やイベントが行われるようになって、「ARIAKE」は「日本テニスの聖地」として多くのプレーヤーやファンに親しまれるようになり



東京2020でも使われたショーコート



23面が2列に並ぶ屋外ハードコート



ブルーが特徴の砂入り人工芝コート



駐車場も営業再開

ました。

1987年にステファン・エドバーク（スウェーデン）の優勝でスタートしたサントリージャパンオープン、伊達公子がシュテフィ・グラフを下して日本に劇的な勝利をもたらした1996年のフェデレーションカップ、当時17歳の谷澤英彦が決勝で福井烈を破って最年少優勝を果たした1989年の全日本選手権、国枝慎吾が金メダル、上地結衣が銀メダルを獲得した東京2020パラリンピックなど、「ARIAKE」に刻まれたテニスの歴史は色あせることはありません。

テニスミュージアム委員会は、有明テニスの森公園の常設展示場を基盤として、日本のテニスの歴史を守り、伝える役割を担っていくことになります。さらに充実した活動ができるよう、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。



有明テニスの森公園マップ

私の宝物④ 福田雅之助氏揮毫『規』 福田達郎委員と眺めた『この一球』

テニスミュージアム委員
小林 やよい



生まれも育ちも上野のお山。小・中・高ともに上野公園の一角でした。

地の利(?)で動員されることも多く、西條八十忌には小学5・6年の女子児童のみが不忍池畔の「カナリアの碑」の前で合唱し、ミロのヴィーナスが初めてフランスを離れ国立西洋美術館で展示された際には、小さな三色旗を振って大使をお出迎えし、一般公開に先駆けて見学させていただきました。

寛永寺の隣の中学校は校庭が狭く、運動会は上野公園内の二本杉原グラウンド(現在の正岡子規球場)で実施。春の体力測定の50m走も校庭では距離が足りず、東京国立博物館との間の道路で測定しました。

本来20歳以上でないと利用できなかった国立国会図書館支部上野図書館(現在は国際こども図書館)には、地元ということでも高校生のときから入館できました。

構内の音響のすばらしさが報道で取り上げられることもある京成「博物館動物園」駅は、今も公園の木々に馴染む外観が守られていて嬉しくなります。以前の東京都美術館は入口の広い階段とエンタシスの柱が厚重でした。今思えば、公園内にはさまざまな博物館や美術館、奏楽堂など史跡も多く、歴史に触れるのが日常のことでした。

◇ ◇ ◇

テニスミュージアム委員会には、「募金の事務処理担当」の依頼を受けての参画でしたが、徐々に史資料整理にも携わらざるを得なくなって現在に至っています。

史資料受領に関わった中で、忘れられないのは福田雅之助氏揮毫の『この一球』の額の寄贈です。千葉県シニアテニス連盟の中村義久会長に委員会の話をしたところ、毎日新聞社の体育施設に飾られていた『この一球』をお持ちとのこと。体育施設を閉鎖した際に額も外され、倉庫に置かれていたのを譲り受け、裏打ちなど装丁し直してご自宅に大切に保管されているとのことでした。

福田雅之助氏の息子である福田達郎委員に連絡したところ、「ぜひ、寄贈してもらって下さい!」とのこと。中村会長も「しかるべきところに寄贈することを望んでいました」と、全日本選手権開催中の有明まで車で届けてくださいました。そして、大会期間中、コロシアム内に設置されたテニスミュージアムにさっそく展示。立派な額を眺めながら、福田委員と話が弾んでいたのを思い出します。今頃は天国で話の続きをされているかもしれません。

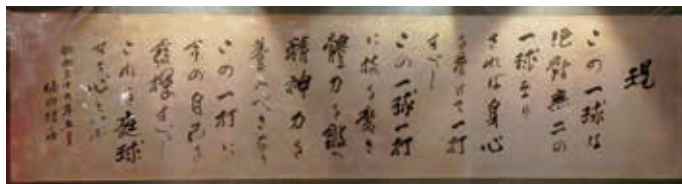
◇ ◇ ◇

専任の学芸員を雇える資金は未だなく、そのときどきの委員たちの知識や工夫で、史資料情報の書き取りや分類・保管もしてきました。しかし、史資料保管環境も十分ではなく、経年劣化のために詳細が確認できない史資料も残念ながら出てきます。少しでも劣化を防ぐ策を取りつつも、実物を見ていただけるチャンスも生かしたい——と迷います。

そんな中、待望の有明のクラブハウスでの常設展示再開が、起動し始めました。日本初のオリンピックメダルは1920年アントワープでのテニスの単複銀メダルという歴史ある競技種目のテニス。上野のお山で見えてきたような展示は資金的にもとても無理ですが、日本のテニス史にも関心を持っていただけるよう、委員会で展示内容を検討しています。



お元気な頃の福田達郎氏



寄贈いただいた福田雅之助氏揮毫『規』

令和4年度『特定寄附金テニスミュージアム』会計報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

前期末残高(令和4年3月31日)	41,170,487円
令和4年度寄附金	4,736,500円
当期末残高	45,906,987円

令和4年度テニスミュージアム委員会活動報告

■主な活動

新WEBデータベースへの史資料データ移行
JTA公式HPに「日本テニス100年の聖地めぐり」記事掲載
史資料寄贈受け入れ
所蔵する史資料への問い合わせ・貸出対応
常設ミュージアム実施業務
ニューズレターの制作・発行
委員会のリモート会議の開催など

〈掲示板〉

〔公財〕日本テニス協会特定寄附金「テニスミュージアムに関わる寄附」へのご寄附のお願い

〔ご寄附の方法〕

- ① ネット決済の場合: JTAホームページ (<https://www.jta-tennis.or.jp/>) の「寄附」コーナーより、「寄附の方法」の **インターネットからのお申込みはこちら** ボタンをクリックしてお手続き下さい (<https://fundexapp.jp/jta-tennis/entry.php>)。
- ② 振込の場合: 同封の振込用紙をご利用いただくか、日本テニス協会(Tel.03-6812-9271)まで振込用紙をご請求下さい。同封・請求の振込用紙をご利用いただけますと、郵便局・ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行からは振込手数料が無料です。

〔頒布物のご案内〕

デ杯「甦る田園コロシアムの熱戦」DVD、フェド杯「日本女子テニス栄光への道のり〜フェデレーションカップの時代〜」DVD、「全日本テニス選手権90年の軌跡」DVDをご希望の方は、下記ミュージアム委員会までお問い合わせ下さい。テニス絵葉書(3種類)はJTAホームページの「JTA STORE出版物頒布」もしくは「情報」コーナーの「出版物」よりお求めいただけます。

〔資料・情報提供のお願い〕

テニス史資料の情報、住所・姓名の変更などはJTAテニスミュージアム委員会までメールにてお知らせ下さい。(Eメールアドレス: museum@jta-tennis.or.jp)

***JTA テニスミュージアムの活動にご賛同いただいた方々の一覧は、JTA 公式ホームページの「寄附」の「芳名録」に記載させていただきました**

■テニスミュージアム委員会■

委員長: 吉井 栄 副委員長: 中川智文
常任委員: 武内 勝、小林やよい、西澤太郎、清水伸一、福池 泉、金森 悟
委員: 後藤光将、越智和夫、小沢 剛、塚越 亘、我孫子和夫、渡邊康二、板橋 C.マリオ